

# NEWSLETTER

No121019

前日号(no120919)では「思考」について述べました。

ナンバーオペレーションは数学を利用した事業です。

数学は合理性("rationality")を追求する科学で、それがナンバーオペレーションの生命線です。

合理性とは以下のような意味です:

"Rationality is the quality or state of being rational—that is, being based on or agreeable to reason."

(「合理性とは合理的であることの質または状態であり、それは、すなわち、「reason」に基づいているかそれに一致している。」)

"reason"には「理由、原因、理性、思考(判断)、分別、道理、理屈」の意味があります。

"reason"の繋がりが"logic"(論理、論理性)です。

論理とはこのようなものです:

If A is B, and simultaneously, B is C, then A is C.

(AとBが等しく、かつ同時に、BとCが等しければ、AはCに等しい。)

これは小学生でも十分理解できる算数の基本的な論理です。

ナンバーオペレーションはそのような基本的な論理が貫かれています。

一貫した論理性("consistency")

数値の変化に単に反応するのではなく、与えられた条件(数値条件)から収益を上げるための理由づけ(="reasoning")を組み立ててみましょう。それが「ハンド」です。

「ハンド」とは与件(与えられた条件: 数値条件)から収益を上げるために組み立てた「数式」です。

数値条件:

MTRXの数値構造 (=トライアングル)

VC(バリューチェーン)

さらに、個々人の条件として現在保有しているハンドとCAF(="Current Available Funds")があります。だから、ハンドテーブルがトライアングルとVCとともに必要になります。

ナンバーオペレーションを幾何学的に捉えるとわかり易いと思います。

先週実行したハンドをテーブルに加えてトライアングルと一緒にご覧ください。

VCのテーブルもトライアングルやハンドテーブルと合わせて幾何学的に捉えるといいでしょう。

ハンドテーブルの[12]、[01]、[02]、[03]、[04]、[05]のそれぞれの下コラムに縦長のレクタングル(長方形)を描き立体的な図形をイメージします。